

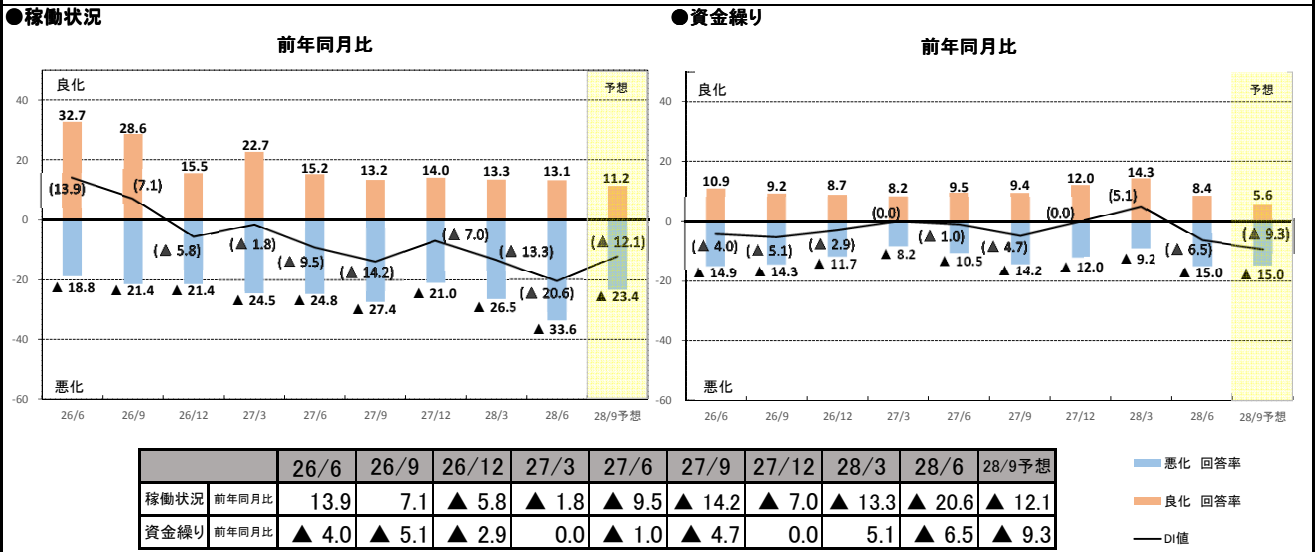
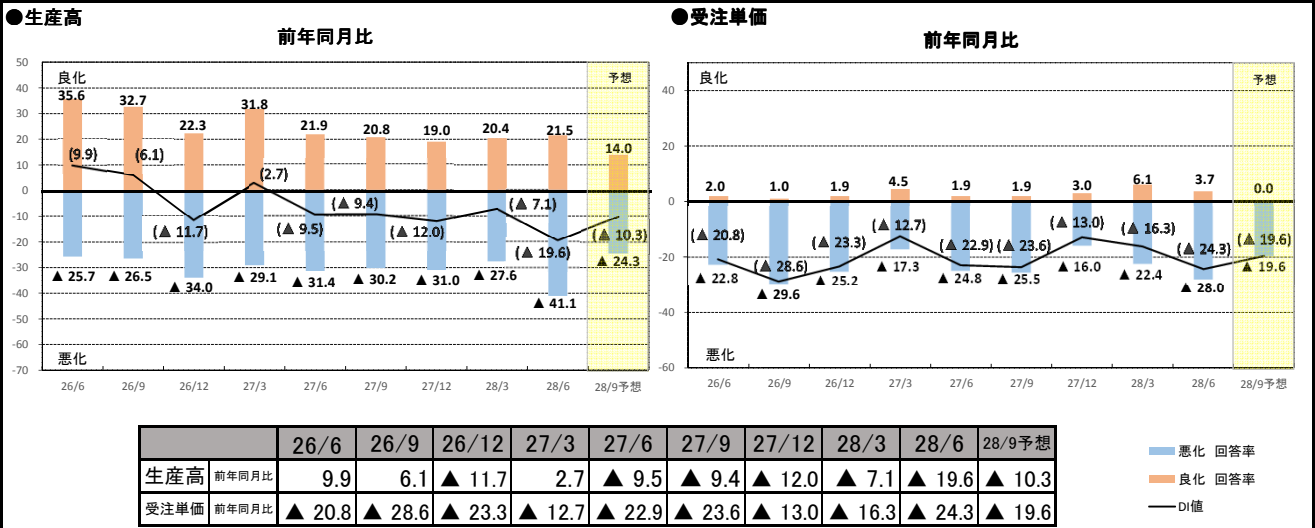
受注企業動向調査結果

-2016.7-

- 調査時点 平成28年6月調査(平成28年6月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 107社(回答率:71.33%)

<業種内訳>	
プラスチック	7社
鉄鋼・非鉄	6社
金属製品	22社
一般機械器具	28社
電気機器	20社
輸送用機器	7社
精密機器	11社
縫製	6社
計	107社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)DIは▲19.6で前回の▲7.1から12.5ポイント減で大幅悪化となった。
- ・受注単価(前年同月比)DIは▲24.3で前回の▲16.3から8.0ポイント減の悪化となった。
- ・稼働状況(前年同月比)DIは▲20.6で前回の▲13.3から7.3ポイント減の悪化となった。
- ・資金繰り(前年同月比)DIは▲6.5で前回の5.1から11.6ポイント減で大幅悪化となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲10.3で9.3ポイント増の良化、受注単価は▲19.6で4.7ポイント増の良化、稼働状況が▲12.1で8.5ポイント増の良化、資金繰りは▲9.3で2.8ポイント減で悪化という予想になった。
- ・受注減や単価の低下などにより生産高は低下傾向にあり、人材も集まりにくい状態、企業にとって厳しい状況が続いている。また、世界情勢などを気にする声も聞こえ、今後に対する不安感を抱く企業が多い。